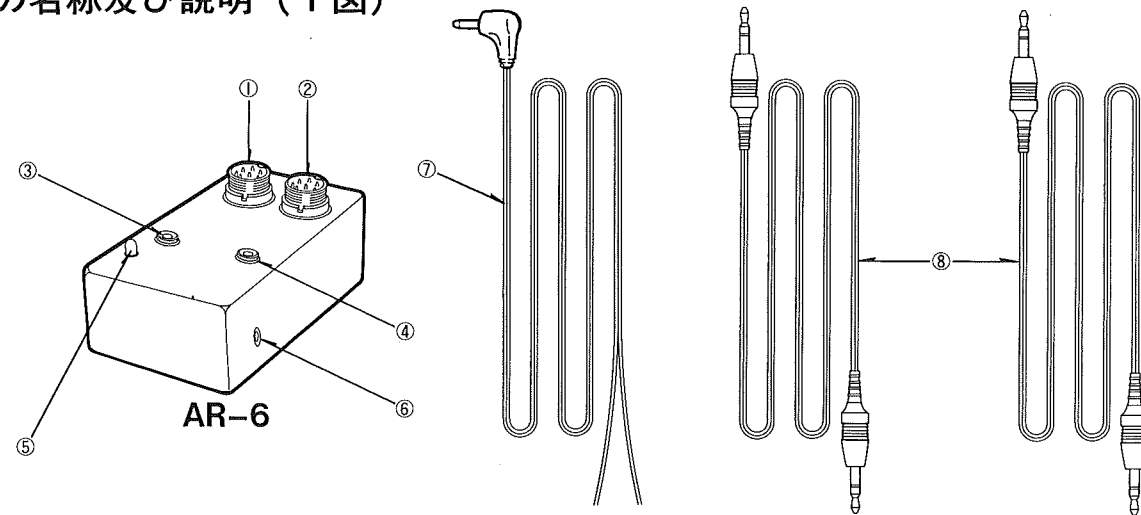


DOUBLE VOX AR-6 取扱説明書

このたびは、アドニス電機のダブルVOX AR-6をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
このAR-6は、入力した音声信号により、接続した無線機から自動的にその音声信号を送信する回路を2回路内蔵した装置です。
ご使用に際しましては、本機の性能を十分発揮させていただき、この説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

◎各部の名称及び説明 (1図)

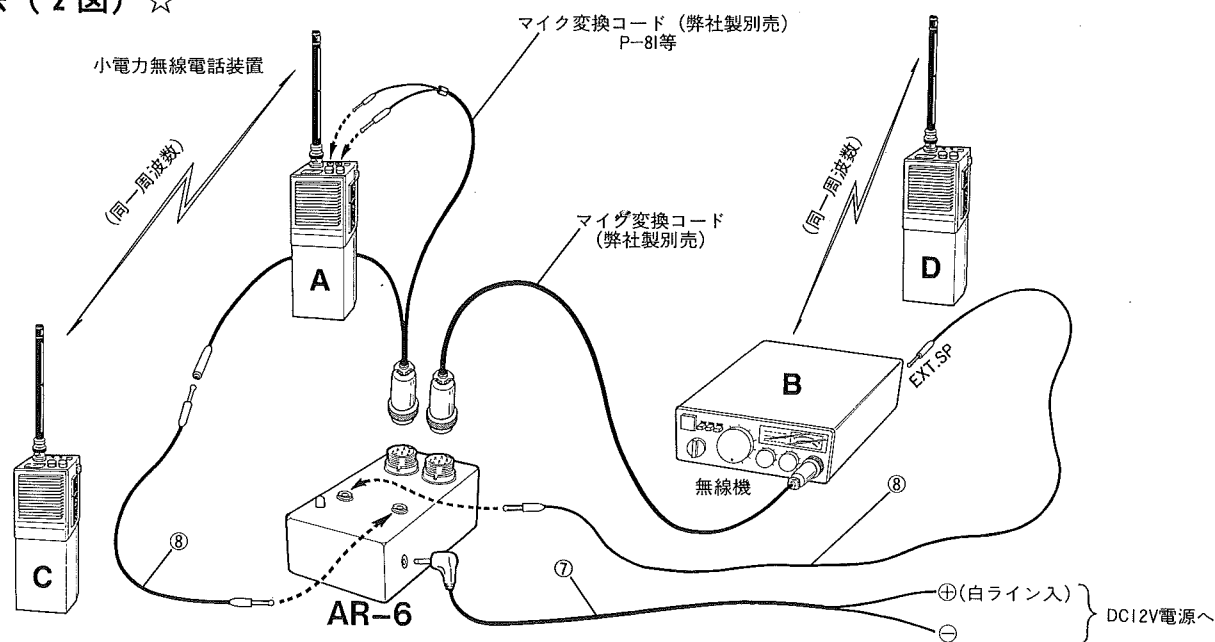


- ① 8 P 出力ジャック A : 8 P アドニス配列のマイク出力です。無線機に適合したマイク変換コード (弊社製別売) で無線機と接続してください。
スピーカー入力ジャック A ③ から入力した音声信号により、無線機をコントロールします。
- ② 8 P 出力ジャック B : 8 P アドニス配列のマイク出力です。無線機に適合したマイク変換コード (弊社製別売) で無線機と接続してください。
スピーカー入力ジャック B ④ から入力した音声信号により、無線機をコントロールします。
- ③ スピーカー入力ジャック A : 付属のスピーカーコード⑧で、無線機の外部スピーカー (EXT・SP) 端子と接続してください。
- ④ スピーカー入力ジャック B : 付属のスピーカーコード⑧で、無線機の外部スピーカー (EXT・SP) 端子と接続してください。
- ⑤ 電源表示LED : 電源が供給されると赤色に点灯します。
- ⑥ 電源入力ジャック : 付属の電源コード⑦を差し込むジャックです。
- ⑦ 電源コード : AR-6と電源を接続するコードです。DC12Vに接続してください。(ラインが入っている方が⊕側です。)
- ⑧ スピーカーコード : スピーカー入力ジャック③④と無線機の外部スピーカー (EXT・SP) 端子を接続するコードです。

◎使用例

●特定小電力無線電話装置を利用して、送受信ワイヤレスマイクとして使用する方法

☆接続方法 (2図) ☆



●2図のように接続すると、無線機Cから送信した信号を無線機Aが受信し、その信号によって無線機Bが送信状態になります。
また、その逆に無線機Dから送信した信号を無線機Bが受信し、その信号によって無線機Aが送信状態になります。したがって、無線機Cと無線機Dが交信できます。

- (1) AR-6の8P出力ジャック A ①と無線機Aのマイク入力ジャックを、ご使用の無線機に適合したマイク変換コード (弊社製別売) で配線してください。
同じように8P出力ジャック B ②と無線機Bのマイク入力ジャックを、ご使用の無線機に適合したマイク変換コード (弊社製別売) で配線してください。
- (2) AR-6のスピーカー入力ジャック A ③と無線機Bの外部スピーカー (EXT・SP) 端子を、付属のスピーカーコード⑧で接続してください。
- (3) 同じようにスピーカー入力ジャック B ④と無線機Aの外部スピーカー (EXT・SP) 端子を、付属のスピーカーコード⑧で接続してください。
- (4) DC12Vバッテリー (又は直流定電圧電源) に、電源コード⑦を配線してください。
(白いライン入りの線が⊕側です。無線機と同一電源で使用する場合は⊖線は接続しないでください。)
- (5) 電源コード⑦を電源入力ジャック⑥に接続して、電源表示LED⑤が点灯することを確認してください。

☆使用方法☆

- (1) AR-6に接続した無線機2台(A、B)の、ボリューム(VOL)とスケルチ(SQL)を、すべて左(反時計回り)に回し切ります。
- (2) 無線機Aのボリュームを少しずつ上げていくと(時計回り)、無線機Bが送信になります。送信に替わった位置より少しだけボリュームを上げておきます。
次に無線機Aのスケルチを少しずつ上げていくと(時計回り)、無線機Bが受信に切り替わります。受信に切り替わった位置より少しだけスケルチも上げておきます。
- (3) 無線機Bも、(2)と同様に調整します。
無線機Bのボリュームを少しずつ上げていくと無線機Aが送信になります。送信に替わった位置より少しだけボリュームを上げておきます。
次に無線機Bのスケルチを少しずつ上げていくと無線機Aが受信に切り替わります。受信に切り替わった位置より少しだけスケルチも上げておきます。
- (4) これで、無線機Aが信号を受信すると、その信号を無線機Bによって送信し、無線機Bが信号を受信すると、その信号を無線機Aによって送信します。

◎ご注意とお願い

- AR-6に接続する無線機のうち1台は、必ず特定小電力無線電話装置を使用してください。
- 無線機A、Bの周波数が高調波、イメージ関係にあると正常な動作をしないことがあります。
- 無線機が送信になる時、又は送信中にスピーカー出力より、ノイズ、その他の音が出る無線機では使用できません。
- 無線機本体にスケルチ (SQL) ツマミが無い無線機での使用はできません。
- 本機は、DC13.8V±10% (12~15V) 以外の電源には接続しないでください。
- 弊社製以外のマイク変換コードを使用すると、正しく動作しない場合があります。
- 本体内部は調整されていますので、不要な改造・調整はしないでください。
- 性能改善の為、予告なく仕様及びデザイン等を変更することがあります。

◎アフターサービスについて

お買い上げいただきました製品は、厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、万一運搬中の事故などに伴い、ご不審な箇所、または破損などのトラブルがありましたら、お早目にお買い上げいただきました販売店、または弊社に保証書を添えてお申しつけくださいますようお願い申し上げます。

ADONIS 株式会社 アドニス電機
 本社 〒576-0017 大阪府交野市星田北1丁目38番15号
 TEL (072) 893-3111 (代表) FAX (072) 891-2240
 東京営業所 〒101-0027 東京都千代田区神田平河町2番地
 大興ビル5F
 TEL (03) 3866-8761 FAX (03) 3866-8858